

昨年(黒神直大宮司)遷座百年の節目の年でした。一昨年7月24日の「藤園忌」命日祭で遷座百年奉賛会(山下武右会長)を設立、老朽化した児玉神社の社殿や境内の修復をはじめ、「台湾を築いた明治

児玉源太郎の業績を正しく伝えて次世代へ継承しようと、平成28年(2016)6月9日に顕彰会を設立してまもなく7年になります。初代会長の小川亮さん(元徳山市長)が平成31年(2019)1月に逝去、令和に改まった同年5月に理事の山下武右さん(山下内科医院院長)が2代目会長に就任、早や4年が過ぎようとしています。

今年は徳山港開港百年、児玉神社(黒神直大宮司)遷座百年の節目の年でした。一昨年7月24日の「藤園忌」命日祭で遷座百年奉賛会(山下武右会長)を設立、老朽化した児玉神社の社殿や境内の修復をはじめ、「台湾を築いた明治

の日本人」(産経新聞出版)著者の渡辺利夫氏の講演会、ゆかりの地探訪ウォークなど数々の記念事業を実施しました。



クリアファイルを徳山小学校児童に贈呈

顕彰会の精力的な活動は全国で注目されるまでになりました。皆様の心温まるご支援とご協力に深く感謝します。



児玉神社境内の横看板を5場面にまとめたクリアファイル

児玉源太郎顕彰会設立7年
児玉神社遷座百年奉賛会支援
大きな成果を収める

本丁通信
 ほんちようつうしん

編集・発行
 児玉源太郎顕彰会
 〒745-0874
 山口県周南市公園区5854-41
 周南文化協会 内
 TEL. 0834-22-8190

印刷 (株) 精文社
 山口県周南市若宮町1-55
 TEL. 0834-21-1611

の跡地に建つ学校で、児童たちにとって源太郎は大先輩にあたります。11月17日に児童全員にクリアファイルセットを贈呈しました。神社境内には源太郎がこよなく愛した藤の花を楽しめる藤棚も作り、数年後には花の下で憩えそうです。

した。この7年を振り返ると毎年のように大きな仕事が待ち受けていました。

設立翌年の平成29年は源太郎の命日を7月24日と定めて「藤園忌」行事を始めました。児玉神社で命日祭、菩提寺の興元寺(金子清学住職)で供養、また茶会や俳句募集も。平成30年は明治150年で「明治維新百五十年回想と顕彰」周南実行委員会(小川亮会長)を支援、奉祝祭や山口県周防部の史跡探訪バス、明治の酒と食を再現した「明治維新百五十年の宴」などに取り組みました。令和元年と2年の2か年では源太郎の生涯を描いたDVD「児玉源太郎 未来を築く」(全3巻)を製作、学校や図書館などに寄贈しました。

全国自治体病院協議会 山口県支部研修会での講演



明治の激動期を生き抜いた児玉源太郎

― 貫いた無私の精神

児玉源太郎顕彰会 事務局長 西崎博史

令和4年度全国自治体病院協議会山口県支部（武藤正彦支部長）の研修会が2月11日、web開催されました。

講演は①大阪大学大学院医学研究科・医学部感染制御医学講座の忽那賢志教授「COVID-19

現在の流行状況と感染対策」②児玉源太郎顕彰会の西崎博史事務局長「明治の激動期を生き抜いた児玉源太郎―貫いた無私の精神」。

座長は周南市立新南陽病院の松谷朗院長が務められました。

私の講演は事前に資料を配布、パワーポイントを使って内容を要約しながら進めました。同協議会山口県支部の了解を得てここに掲載します。

〔はじめに〕

新聞記者を10年間経験したあと、32歳の時に周南市文化会館の開館

を控えた周南市文化振興財団に転職、劇場の運営に38年携わってきました。

65歳の時に文化会館館長を兼ねながら周南文化協会会長に就任、就任の翌年文化協会に事務局を置いた児玉源太郎顕彰会を設立、事務局長として活動を推進してきました。文化会館館長は2年前に退任し、3年前からは山口県文化連盟会長も務めています。

周南文化協会や児玉源太郎顕彰会、山口県文化連盟に関わろうとは夢にも思いませんでした。時代の流れ、歴史の流れを感じながら人生の不思議を思います。

本日はこのような機会を与えていただき、ありがとうございます。

〔DVD鑑賞ガイド〕

児玉源太郎顕彰会では、若き人



2年をかけて製作したDVD「児玉源太郎・未来を築く」

への贈り物として、児玉源太郎の生涯とその時代を描いた映像教材を、明治維新150年の節目にあたる2018年に計画して2019年と2020年の2か年で製作しました。

第1巻「児玉源太郎を知っていますか」、第2巻「児玉源太郎が

生きた明治とは」、第3巻「児玉源太郎が目指したものは」の全3巻です。児玉源太郎が生きた幕末から明治へかけて、日本の近代化の道、国際社会へ躍り出た時代を通してその生涯を紹介します。

2020年秋、周南市の小学校、中学校、高校、大学、図書館、市民センターをはじめ、国会図書館、全国47都道府県の中央図書館などに200セットを贈呈しました。総額330万円。さらに100セットを顕彰会会員や希望者に実費で頒布しています。企画・児玉源太郎顕彰会、制作・山口放送、協力・周南市美術館博物館、特別協賛・トヨタカローラ山口。

〔児玉源太郎〕

幕末の1852年（嘉永5）徳山藩士の家に生まれます。翌年はアメリカの東インド艦隊司令長官ペリーが浦賀に来航、開国を迫り、日本の情勢は大きく変わります。

17歳で戊辰戦争に出征し、維新後は日本が列強諸国に並ぼうとした時代を牽引した人物。台湾の第4代総督として民政長官の後藤新平の力を得て近代化を進め、日露戦争では満州軍総参謀長として大局的な観点から勝利に導き、早期の講和条約締結に持ち込んだ立役者でした。

ふるさとおいては、私財を投じて1903年（明治36）生家跡に私設の図書館「児玉文庫」を開設、1945年（昭和20）戦災で焼失するまで明治、大正、昭和と42年間、教育向上に大きな役割を果たします。「児玉文庫」が戦後の徳山市立中央図書館へとつながります。

戦地における功績が大きく、軍人にとって児玉源太郎は抜きんでの存在です。そのために軍人としての印象を強く持たれていますが、政治家としてもすぐれた才能を発揮しています。内閣の統制下に陸軍を置いて帷幄上奏^{きぼくじょうそう}を縮小すること、内務大臣として廃藩置県以来の地方制度改革計画で府県半減案を示したこと、しかも徳山藩の出身でありながら山口を広島に併合するといった内容です。日露戦争の開戦を前に内務大臣を辞してこの計画は幻となりました。

内閣の機能強化を図ろうとした伊藤博文に協力したのが児玉源太郎です。

1906年（明治39）55歳で児玉は病に倒れ、その3年後に伊藤も暗殺されて世を去りました。この2人が生きていれば昭和の悲劇を相当の確率で食い止めることが

できた指摘する学者もいます。

【世界初の戦後大検疫】

明治28年（1895）、政府は日清戦争の帰還兵23万人の検疫にあたるための臨時陸軍検疫部を設置しました。世界に類をみない大規模な検疫事業の責任者、臨時陸軍検疫部長に陸軍次官の児玉源太郎が就任、実務責任者の事務官長には水沢藩（岩手）出身の医師、後藤新平を抜擢しました。後藤は内務省衛生局長まで昇進していましたが、福島県相馬のお家騒動に連座し、無罪が確定したばかりの身でした。陸軍省医務局長、日清戦争時は衛生長官をしていた石黒忠恵が推薦、児玉と後藤を引き合わせました。後藤は児玉の器量の大きさにふれて国民のいのちをまもることを誓い、児玉は後藤に全幅の信頼を寄せてすべてを後藤に託しました。児玉の力で官僚や陸軍の関係者に口を出さなかったと言います。

検疫所は似島（広島）、彦島（下関）、桜島（大阪）の3か所に置かれました。似島ではおよそ2か月をかけて1万3千坪を造成、消毒所や病棟など8千6百坪の建物群を建設しました。3か所での検疫は5月から10月まで行われ、検疫した船舶は687隻、人員23万2

千346人、世界初の戦後処理の大検疫を完遂しました。大事業を果たすには、組織を制御できる、揺るがない信念をもった強力なリーダーが必要でした。児玉の後ろ盾を得て後藤はその才能をいかにく発揮しました。児玉と後藤の二人の出会いが台湾の近代化にもつながっていきます。児玉源太郎という指導者から知遇と知略を得たことが、その後の官僚政治家としての後藤新平を生んだと言っても過言ではありません。

【台湾総督としての児玉源太郎】

児玉源太郎が陸軍第3師団長から台湾総督に就任したのは1898年（明治31）2月。樺山資紀^{ひらやまのり}、桂太郎、乃木希典に続く4代目。



台湾総督府。現在の台湾総統府

亡くなる年の1906年（明治39）4月まで実に8年2か月にわたって台湾総督を務めます。それまでの3代の在任期間はそれぞれ1年、4か月、1年4か月と短く、大した成果は上げられませんでした。児玉源太郎は就任時の所信表明で「私の職務は台湾を治めることで、台湾を征討することではない」と述べ、武力に対して武力で制するということ、これまでの方針を変えました。

その下で、後藤新平は現地の人の考えや習慣を受け入れる「生物学的植民地経営」の持論によって、工夫しながら日本の組織、制度を台湾に適用し、鉄道や港湾建設、土地や人口の調査、阿片^{あへん}、樟腦^{しょうのう}、



日本が統治した当時の台湾総督府（模型）

食塩、煙草の専売制度の確立、製糖業の近代化など卓越した手腕を発揮、8年間に及んだ2人の政策は大きな実を結びました。後藤は、盛岡出身の農学者で欧米留学の経験がある新渡戸稲造を総督府技師に抜擢、製糖業にも力を入れました。

台湾人の現在に至る日本びいきは、児玉の治世より始まっていると言われています。

【周南市に児玉源太郎顕彰会】

児玉源太郎が生れ育った徳山は、徳山村から徳山町、徳山市と発展、2003年(平成15) 徳山市と新

南陽市、鹿野町、熊毛町の2市2町が合併して周南市になりました。島が連なる徳山湾は天然の良港で、1904年(明治37) 徳山町に海軍煉炭製造所の設置が決まったのが今日の発展の基礎を作りました。海軍煉炭製造所は1921年(大正10) 海軍燃料廠に改称、戦後は民間に払い下られて出光興産徳山製油所が進出、一大コンビナートを形成、工業都市として発展しました。煉炭製造所設置には陸軍要職にあった児玉源太郎の海軍への働きかけがありました。

徳山小学校に隣接して児玉神社、児玉公園があります。このあたりの町名は児玉町です。児玉源太郎

の児玉から採られました。



「生誕の地」にある産湯の井戸

産湯の井戸を今に伝える、岐山通三丁目の児玉源太郎生家跡が所有者の徳機株式会社から周南市に寄贈され、これを受けて市が「児玉源太郎生誕の地」として整備、2015年(平成27) 9月17日開園しました。これを契機に顕彰会設立の機運が高まり、準備委員会から発起人会を経て翌年6月9日に地元有志で顕彰会を起し上げました。

児玉源太郎の顕彰については、地元有志が児玉文庫開設百周年にあたる2003年(平成15) 源太郎生誕の地でもある文庫の跡地に記念碑を建立したり、2011年(平成23) 児玉公園の一角に児玉



周南市岐山通三丁目の「児玉源太郎生誕の地」

源太郎像を設置したり、さまざまな活動がありました。それぞれはとも意義深いのですが、単独の事業で終わって継続されませんでした。息長く顕彰活動を、というのがこの町の宿願でした。

周南文化協会に事務局を置いて活動を支えることで物語は動き始めました。児玉源太郎が逝去して実に110年の歳月が流れていきます。元徳山市長の小川亮初代会長をはじめ、副会長や理事ら役員32人、支援する会員は全国に500人。講演会の開催、会報「藤園」とニュースレター「本丁通信」の発行、発足翌年夏には児玉源太郎の命日を7月24日と定めて「藤園忌」行事を始めました。児玉神社

と菩提寺の興元寺へお参りし、周南文化協会の協力で「藤園忌」茶会や俳句募集も。「藤園忌」は夏の恒例行事として定着、今年で7回目を数えます。

立派な礎を築かれた小川亮さんは2019年(平成31) 1月逝去、元号が令和に改まった5月の総会で2代目会長に顕彰会理事で山下内科医院院長の山下武右さんが選任され、令和の時代とともに新しい体制がスタートしました。

児玉源太郎ゆかりの地を訪ねる台湾の旅を2019年2月に実施、台北に焦点をあてて総統府や台北賓館、国立台湾博物館などをめぐりました。コロナ禍で3年中断していますが、次回は台北から台中、



年2回発行のニュースレター「本丁通信」

徳山港の開港記念式と児玉神社遷座祭が行われました。いずれも地元有志が汗をかいて実現させました。児玉神社の祭神は児玉源太郎です。その折、台湾から移植され

1922年(大正11) 12月15日、

【徳山下松港開港百年・ 児玉神社遷座百年】

との交流も一層深めていくことにしています。

台南、高雄へと足を延ばす予定。源太郎の足跡をたどり、台湾の歴史と社会を学んで一層の交流を図りたいと考えています。

また、岩手県奥州市の後藤新平

顕彰会(2002年発足)や札幌市の「新渡戸稲造と札幌遠友学校を考える会」(2013年発足)



年1回発行の会報「藤園」

た五葉松「タイワンゴヨウ」は5本のうち4本が今も歴史を物語ります。徳山港は開港記念式をした年の2月10日に特別輸出入港として開港許可、戦後の1948年(昭和23)に下松港が編入されています。

昨年は丁度百年の節目にあたりました。児玉神社遷座百年奉賛会を昨年7月24日設立、神社の境内や社殿の改修をはじめ、参道に児玉源太郎の生涯をイラスト入りで分かりやすく紹介する掲示板を設置するなどの記念事業を進めました。奉賛金目標額5千万円を達成、昨年10月22日にはゆかりの地散策、記念講演会、翌日には神社で奉祝祭、遠石会館で記念式典と祝宴が行われました。

【児玉源太郎に学ぶ】

難しい局面にはいつも児玉源太郎がいたと言います。伊藤博文内閣の次の総理大臣候補に名前があるほどの存在でした。大所、高所からの的確な判断力、先を見通す構想力、人を見抜く力と人材の起用術、それらの基になる情報収集力。そして洒脱で魅力的な人柄。幕末から明治にかけて命懸けで生き抜いたリアリスト。すさまじい現実を生きていく中で身につけたリアリズムです。「公」に生

きるといふパブリックの精神でその55年の生涯が貫かれています。その姿勢は私利私欲のない「無私の精神」です。

後藤新平の孫にあたる哲学者、鶴見俊輔(1922〜2015)は「思い出袋」(岩波新書)に児玉源太郎のことを次のように書いています。

「児玉源太郎は、同時代の世界史でくらべようのないすぐれた軍人だった。19世紀のナポレオン、20世紀のヒトラーが負けたロシアを相手に、児玉の指揮した日本は負けなかった。それは児玉が、どういう世界状況の中で日本がロシアと戦うかについての見通しをも



自然や歴史などを伝える国立台湾博物館



国立台湾博物館内の児玉源太郎と後藤新平の立像

っていたからだ。ヨーロッパ留学の経験もなく、幕末からの変転する状況の中で、状況を読み続けた児玉には、後代の軍人、そして官僚の、学習による知識とはちがう知恵があった」。

卓越した英国の歴史家、E・H・カー(1892〜1982 エドワード・ハレット・カー)は「歴史とは、現在と過去との対話である」と述べます。

対話するとは、その時代に立ち返って時代を認識することです。時代に立脚して歴史を見つめ、ともに学びながら日々の実践を重ねたいと思います。それは未来へ希望をつなぐ架け橋になるための活動です。

窓

交流を深めて次世代へ

児玉源太郎から後藤新平、
新渡戸稲造へと紡ぐ物語



台湾総督児玉源太郎と民政長官後藤新平

明治維新から155年。幕末から明治の近代化の中をすさまじい勢いで駆け抜けた児玉源太郎と後藤新平、そして新渡戸稲造。不思議な縁で結ばれた3人はそれぞれの人生を賭けて大きな役割を果たしました。「明治は遠くなりけり」どころか「昭和は遠くなりけり」の感さえあります。

次世代へ継承して未来への懸け橋になればと、後藤新平のふろさと奥州市で、新渡戸稲造のゆかりの地札幌で、児玉源太郎のふろさと周南市で顕彰活動と新たな取り組みが始まっています。3人の人生をたどりながらご紹介しませう。

明治の新政府の下、軍人、政治家、教育者として活躍した児玉源太郎と後藤新平、新渡戸稲造。それぞれの生年は徳山藩士の児玉が1852年（嘉永5）、水沢藩士の後藤が1857年（安政4）、南部藩士の新渡戸は1862年（文久2）と5歳違ひです。没年は1906年（明治39）、1929年（昭和4）、1933年（昭和8）。数えて言うくと児玉55年、後藤73年、新渡戸72年の生涯です。

3人が幼少期を過ごしたのは幕末の動乱期のさなかです。1853年（嘉永6）にアメリカ東インド艦隊司令長官ペリーが軍艦4隻を率いて浦賀へ。日本に開国を迫り、これに応じようとした幕府の方針に薩摩、長州などの雄藩は倒幕か恭順かをめぐって揺れ動いていました。倒幕派が実権を握った長州と薩摩が手を組んで（薩長同盟）倒幕の動きが加速します。幾たびの戦いをへて幕藩体制が崩壊、誕生した明治政府は「御一新」の名の下で近代化政策を推進しました。

3人が活躍したのはこの時代です。

『児玉源太郎』

児玉は軍人としての教育を受け、陸軍の体制を整えながら陸軍第3

師団長から第4代台湾総督、日露戦争では総参謀長として二百三高地を攻略、早期の講和条約を結んで日本を救った立役者になりました。政治家としても内務大臣、文部大臣をこなし、伊藤博文内閣の次の総理大臣候補と目されました。児玉と後藤の運命的な出会いは日露戦争の10年前、1895年（明治28）日清戦争の帰還兵23万人の檢疫事業でした。臨時陸軍檢疫部長に陸軍次官の児玉が就任、実務責任者の事務官長に後藤を抜擢、わずか半年での大規模な檢疫を見事に完遂しました。このことが1898年（明治31）から8年間、台湾総督府での2人の仕事につながります。

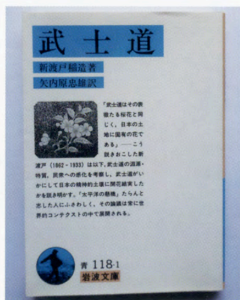
『後藤新平』

後藤は福島の前須賀川医学校で学んだ医師です。24歳で愛知県病院長兼愛知県医学校校長。その後、内務省衛生局技師をへてドイツ留学、児玉の台湾総督在任中は総督府民政長官として鉄道や港湾建設、土地や人口の調査、阿片、樟脳、食塩、煙草の専売制度の確立、製糖業の近代化など大きな実績をあげました。満鉄初代総裁、通信大臣、内務大臣、外務大臣、東京市の7代市長、ボーイスカウト日本連盟初代総裁など活躍は多岐にわ

たります。関東大震災後、内務大臣兼帝都復興院総裁として復興に尽力しました。

『新渡戸稲造』

新渡戸は盛岡出身。札幌農学校の二期生。親友の内村鑑三とともに学んでいます。アメリカ、ドイツ留学後、札幌農学校教授をへて台湾総督府技師、糖務局長。後藤の下、台湾の製糖業で手腕を発揮しました。農学博士、法学博士としての教育の分野でも活躍、京大や東大の教授、東京女子大初代学長もしました。国際連盟事務次長、クリスチャンとして国際親善にも貢献、日本を海外で紹介しました。英文で書いた「武士道」は高く評価されています。



海外でも高く評価された著書「武士道」

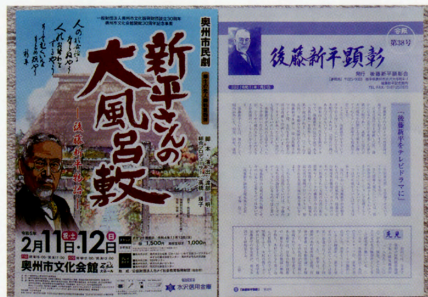
3人のふろさと及びゆかりの地では顕彰活動が行われています。後藤新平のふろさと、岩手県奥州市で2002年（平成14）に後藤新平顕彰会、新渡戸稲造が活躍した札幌の地で2013年（平成

25)に「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」が発足、児玉源太郎没後110年の2016年(平成28)山口県周南市に児玉源太郎顕彰会が立ち上がりました。児玉源太郎顕彰会については5頁で詳しく取り上げました。

ここでは後藤新平顕彰会と新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会の活動をご紹介します。

【後藤新平顕彰会】

後藤新平顕彰会(山口了紀会長)は毎年6月4日の生誕祭や奇数月の輪説会、夏休みに小学6年生を対象にした顕彰塾などを開催しています。会報「後藤新平顕彰」第38号は1月21日発行。1面では顕彰会会員の平塚信三さんが「後藤新平をテレビドラマに」と寄稿。日清戦争後の帰還兵検疫、台湾での衛生管理やインフラ構築、関東大震災後の復興プロジェクトをエピソード1、2、3として作品化していけば日本社会の指針を示すプレゼンテーションになるのではと、提案しています。3面では顕彰会副会長で調査研究部会の高橋力さんが「東北の戦略」歴史から未来へ」と題して戊辰戦争で敗れた東北の地が苦難を乗り越えて新しい国家の建設に尽力した話を紹介しています。



会報「後藤新平顕彰」第38号と奥州市民劇「新平さんの大風呂敷」チラシ

高校生以下の幼児、児童、生徒を対象とした「冬の3館ウォーク」も1月29日まで開催。水沢にある高野長英(江戸時代の蘭医・蘭学者)、後藤新平、斎藤實(海軍軍人、政治家)と3つの記念館をめぐる、問題を解いてスタンプを集めるとクリアファイルをプレゼント。人気のウォークです。後藤新平の生涯を描く奥州市民劇「新平さんの大風呂敷」後藤新平物語」は1年延期されて2月11日と12日、奥州市文化会館で上演、大いに盛り上がりました。

【新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会】

一般社団法人新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会(松井博和

代表理事)は、新渡戸稲造記念公園に札幌遠友夜学校の精神を継承する「新渡戸遠友館」(仮称)建設をめざして活動が続けています。札幌遠友夜学校は、新渡戸稲造博士夫妻が創設し、主に札幌農学校、のちに北海道帝国大学の700名に上る学生たちが無償で博愛心に燃えて50年にわたり5千名以上の貧しい子どもたち、青年男女に無料で教育を授けました。

北海道内外の篤志家、遠友会会員、北海道や札幌市、内務省、宮内省の支援も得た輝かしい教育活動です。教育精神を顕彰し、跡地に現代のニーズに合った教育の場作りをめざす記念館建設運動です。昨年5月、北大が記念館の建設・運営プロジェクトに参加、協力することになり、力強い支援に関係者は大喜びです。

各種の講座や講演会も積極的に開催しています。昨年6月19日に北大学術交流会館で第10回記念フォーラム、7月から今年2月まで



第5回稲造サミット参加を呼び掛けるチラシ

第2火曜日、愛生館サロンで連続講座、11月3日には第5回稲造サミットを札幌プリンスホテルで開催、高校生、大学生を含めた80名がSDGsの具体的推進について熱く語り合いました。

令和5年度 会費納入のお願い

4月1日から令和5年度が始まります。早めに会費の納入をお願いします。

個人会員の会費は2千円ですが、個人としても1万円以上の賛助会員は大歓迎です。会員募集チラシと振込用紙(郵便局専用)を同封しました。銀行振込の場合はお名前と連絡先を事務局までお知らせください。

児玉源太郎顕彰会はいよいよ8年目に入ります。総会を6月3日(土)「藤園忌併句」を6月と7月で募集、「藤園忌茶会」を7月16日(日)、命日祭と供養を7月24日(月)に開催する予定です。「藤園忌」行事は7回目を数えます。

トピックス

寄贈本 続々と

宿利重一著「兒玉源太郎」

光市在住の兒玉源太郎顕彰会会員、兼崎人士さんから昨年暮れ、宿利重一著「兒玉源太郎」(国際日本協会発行)を寄贈していただきました。1942年(昭和17)初版で3千部、翌年再版で2千部刊行、戴いたのは再版2千部の1冊。当時の定価は3円80銭。研究者には欠かせない貴重な本です。

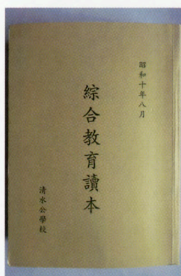
著者の宿利重一は1904年(明治37)の日露戦争開戦時、大分県立大分中学校2年生。2年後に兒玉源太郎薨去の新聞記事に呆然、自失、涙したと言います。その36年後に出版された序文で「名將にして政治家たりし兒玉將軍55年の生涯を描きたい」と記します。802頁に及ぶ大著に感謝します。同著の復刻本は1993年(平成5)マツノ書店(周南市)から限定600部発行されています。

宿利重一著
「兒玉源太郎」台湾・清水公学校
「綜合教育讀本」(復刻)

下松市在住で俳誌「山彦」主宰の河村正浩さんから昨年9月、台中の清水公学校で昭和10年発行された「綜合教育讀本」を寄贈していただきました。

清水公学校は新校舎落成とともに日本全国に先がけて有線放送設備が整えられ、各教科に関するレコードを数百枚購入、その内容を活字にしてまとめたのが「綜合教育讀本」です。発行にあたり、当時の川村秀徳校長は序文で「国語教育の徹底は、其の目的達成上重要な位置を占む。芸術教育特に日本音楽による情操陶冶、感情教育は公学校に於いての緊要一つなり」と。

当時3年生で高等科1年までこの読本を使った蔡煥燦さん(台湾歌壇の歌人)が「私の誇りである母校の歴史を残したい」と2006年(平成18)復刻、日本李登輝友の会を通じて関係者に届けられました。

清水公学校の
「綜合教育讀本」

編集室より

兒玉文庫開設のきっかけは

川上 浩史

兒玉文庫は、その開設費用の一部に、英照皇太后葬儀へ源太郎が尽力したことによる内帑金を用いたとされます。

この葬儀は、明治維新後に「陛下」と尊称される人物として初めて、神式を基本とすることや、陵を造営すること、国民に弔意を示す色として黒を示すことなど、皇太后の急逝により、いろいろな事が慌ただしく決定されたようです。当時、陸軍次官の源太郎がどのような役割を果たしたか分からないが、と調べているところです。

(新南陽郷土史会事務局長)

絵巻看板の制作に携わって

松本久美子

先日、観光ボランティアの方から「兒玉神社の看板、とても役に立っています。兒玉源太郎さんのことを説明しやすくなりました」と声をかけていただきました。

兒玉神社遷座百年にあわせて黒神直大宮司より依頼を受け、源太郎さんの人となりを伝える看板の製作に携わりました。子どもにもわかりやすいように書くことが意外に大変でしたが、苦勞した甲斐がありました。10月13日の除幕式に参列、完成した看板

を目にした時の達成感は格別でした。

顕彰会設立当初から、もつと若い人に源太郎のことを知ってもらいたいと思っていました。今回は若いイラストレーターの高鍋由香里さん、谷川愛理さんと一緒に取り組めたこととても良かったです。子育て中のお二人は、若いお母さんと子どもたちが興味を持てるようにといういろいろなアイデアを出してくれました。この絵巻看板が皆さんに末永く親しまれると嬉しいうです。

(周南市美術館学芸課長)

10周年をめざして

西崎 博史

顕彰会が発足してこの6月で丁度7年。歳月の早さを痛感します。周南市文化会館の運営でアートマネジメントを学び、今は顕彰会の活動を通して組織マネジメントの難しさと妙味を感じています。キーワードは人と資金。ビジネスと違う社会貢献活動としての組織のあり方も問われます。大義はどこにあるのか。義をみてせざるは勇まきなり。この言葉を胸に心は10周年へと向かいます。

3月10日の兒玉神社例祭。年々参列者が増えて今年は新装の社殿に40人。呉市から加藤友三郎銅像保存会の大之木小兵衛会長、北海道芦別市から新会員の小川淳さんと遠来の参拝客にも励まされました。

(兒玉源太郎顕彰会事務局長)